近年, 熱帯雨林地域では森林が減少している。熱帯雨林は、南米、アジア、アフリカに分布するが、この地域の森林は、農業用の土地を得るために森を焼き払う、紙製品の 原料や木材として輸出するために木を切るといった行為により破壊されている。

焼き払いや伐採による森林の消滅は、環境に多大な影響を及ぼす。まず、多くの動植物の生息地が失われ、生物多様性が保たれなくなる。また、光合成をする木がなくなることは、大気中の二酸化炭素の増加につながり、地球温暖化を促進することも心配される。さらに、木がなくなった地域では、洪水や地滑り等の災害が起きやすくなる。

もちろん、焼き払いや伐採をやめれば森林の減少は食い止められるが、それによって生計を立てている現地の人々の事情を考えると、すぐにすべてをやめることは難しい。 現実的な対応として考えられるのは、自然の回復力を超えるような大規模な焼き払いを減らして持続可能な農地作りを目指すこと、伐採後に植林を行って森林の維持に努めることである。そして、紙や木材の消費国では、リサイクルの徹底と無駄の削減に一層力を入れるべきであると考える。(474字)

(2)

人は基本的に, 自分にはないものを持つ人にひかれ, 恋に落ちるのだという。一方で, 結婚生活を維持するためには, 似た者同士のほうがよいともいう。

国際結婚の場合、刺激的な恋をして結婚はしたものの、現実には、異文化にとまどったり、お互いの言語を十分に知らないために誤解が生じたりすることも少なくないだろう。相手の家族との関係においても、家族形態や慣習の違いから、困難や疎外感を感じることがあるかもしれない。また、子どもが生まれた場合は、双方の言語や文化をどのようなバランスで伝えるか、どちらの国で育てるかなどについて、ふたりの意見が対立することもあるだろう。

このような問題が生じやすい国際結婚で、幸福な関係を維持するためには、同国人同士の結婚以上に、相手や家族のことを思いやり、理解しようとすることが大切だ。自分の常識と異なることが起こった場合は、自身の判断を保留し、相手の考えに耳を傾け、お互いが納得するまで根気よく話し合うようにする。そういった努力を怠らなければ、違いから生ずる問題を乗り越え、国際結婚を楽しむことができるだろう。(462字)